

## 「2015年卒学生の就職活動の実態に関する調査」

公益社団法人全国求人情報協会は、新卒等若年雇用への社会的関心の高まりを背景に、2013年度より専門部会として「新卒等若年雇用部会」を設置し、問題整理やアクションプラン等の検討を開始しました。当部会の調査・研究活動の一環で、民間企業・団体への就職活動を経験した全国の大学4年生・大学院2年生を対象とするアンケート調査を2015年3月に実施し、その調査結果の概要をまとめましたのでご報告します。

- ①最終学年3月下旬時点までには、在学中に就職活動をした大学4年生の92.6%、大学院生の89.4%が進路を確定。就職確定者の8割後半が就職先に満足。⇒詳細は2ページ
- ②大学生、大学院生の5割が、就職活動を開始後半年以内に活動終了。⇒詳細は3ページ
- ③大学生の就職活動プロセスごとの活動量の平均値は、プレントリー53.6社、企業説明会参加23.5社、書類選考17.8社、面接など対面選考11.3社。⇒詳細は4-5ページ
- ④[プレントリー][一次選考応募][最終的な就職先]をそれぞれ選ぶ時の情報源は、いずれも民間の就職情報会社がトップで、個別企業の採用広報物や社員、大学が続く。⇒詳細は6-8ページ
- ⑤大学生が就職活動中に知りたい情報の上位項目は「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」で、それらに関して8～9割が知る事ができたと回答。⇒詳細は9-10ページ
- ⑥就職活動終了時期が遅い者や最終学年3月下旬時点の就職活動継続者ほど、就職活動の開始時期が遅く、活動期間が長く、就職活動の量が少ない。⇒詳細は11-13ページ
- ⑦大学生の8割が、活動開始前は「卒業したら、すぐに社会に出て働くのが当然」と認識。⇒詳細は14ページ
- ⑧大学生の7割が、「前向きな姿勢」で就職活動を実施。活動継続者は過半数が「後ろ向き」⇒詳細は15ページ
- ⑨学生は、新卒労働市場の現状など日本の就職環境に関して十分な知識をもっていない。⇒詳細は16ページ

### ●調査の概要

- 1) 調査目的: 大学生や大学院生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する。
  - 2) 調査対象: 民間企業・団体への就職活動を在学中に経験した(\*全国の大学4年生・大学院2年生 1035名 \*就職活動の経験者を、プレントリー(資料・採用情報の請求)、説明会、書類選考、対面選考のいずれか1つ以上の経験者と定義した。左記の条件を満たす996名で集計を実施
  - 3) 調査時期: 2015年3月20日～31日
  - 4) 調査方法: インターネット調査(調査実施機関: 株式会社マクロミル)  
 ーマクロミル社のモニターにスクリーニング調査を行って対象者を抽出し、学校種別、性別、専攻系統(文理)の構成比が母集団に近づくよう、「文部科学省学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。
- ※本資料では、「2015年」=2015年調査、「2014年」=2014年調査 を示す

<サンプル数>

大学生	855
文系・国公立	37
文系・私立	533
理系・国公立	48
理系・私立	237
大学院生	141

### ●調査実施主体 公益社団法人全国求人情報協会 新卒等若年雇用部会

当部会会員企業(調査実施時点、社名五十音順)

株式会社アクセスヒューマネクスト、株式会社アルバイトタイムス、株式会社イフ、株式会社インテリジェンス、株式会社学情、株式会社KG情報、株式会社廣濟堂、株式会社JSコーポレーション、株式会社ジェイ・ブロード、人材ニュース株式会社、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社ディスコ、株式会社文化放送キャリアパートナーズ、株式会社北海道アルバイト情報社、株式会社マイナビ、株式会社リクルートキャリア

お問い合わせ先/公益社団法人全国求人情報協会 業務部・佐藤日出男 Tel03-3288-0881 cyousa@zenkyukyo.or.jp  
 調査リリース資料は、こちらからダウンロードできます。 <http://www.zenkyukyo.or.jp/outline/houkoku/004.pdf>

公益社団法人全国求人情報協会(理事長: 丹澤直紀 略称: 全求協)は、1985年2月に設立。全国の有料求人情報誌・フリーペーパー・折込求人紙・求人サイトを運営・発行する65社の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。会員の年間求人広告件数は1100万件(2014年)にのぼる。

### ①民間企業・団体への就職活動を経験した大学生/大学院生の9割が3月下旬時点で進路を確定。 就職先確定者の8割後半が就職先に満足。

民間企業・団体への就職活動経験者は、調査を実施した3月下旬時点では9割が卒業後の進路を確定している。属性別にみると、大学生は大学院生に比べて進路確定者が多く、国公立大学の理系大学生でその傾向が顕著である。また、2014年調査から、大学生の進路確定者の割合が4ポイント以上増加している。(図表1)

就職確定者の就職先への満足・計(\*)は8割後半と、いずれの属性でも高い。そのなかで国公立大学の理系大学生は、「満足している」の割合が4割強と、私立大学の理系大学生を10ポイント以上上回っている。(図表2)

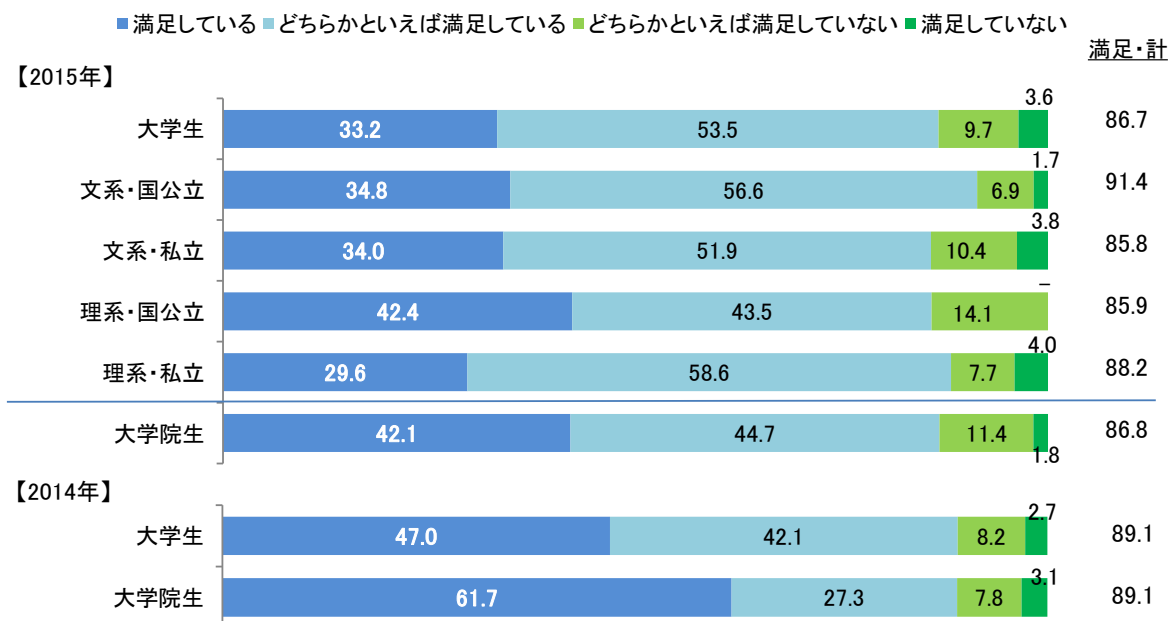
\*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

図表1 卒業後の進路確定状況(n=996、単一回答、単位=%)

	民間企業・団体に就職する	民間企業・団体以外(公務員、教員などに就職する)	就職確定者・計	起業する	大学院などへ進学する	留学する	パート、アルバイトなどの臨時的収入を目的とした仕事に就く	留年するので、卒業しない	その他	進路確定者・計	まだ進路が確定していない
【2015年】											
大学生	77.3	3.7	81.0	0.6	4.8	0.8	3.0	2.3	0.1	92.6	7.4
文系・国公立	65.6	12.5	78.1	-	8.5	2.2	2.2	1.3	-	92.4	7.6
文系・私立	78.8	4.3	83.1	1.0	1.2	0.7	4.3	2.1	0.2	92.6	7.4
理系・国公立	68.4	-	68.4	-	25.5	6.2	-	-	-	100.0	-
理系・私立	77.7	1.7	79.4	-	8.0	-	0.7	3.2	-	91.4	8.6
大学院生	75.2	5.7	80.9	0.7	2.1	-	2.1	3.5	-	89.4	10.6
【2014年】											
大学生	66.5	4.8	71.3	1.1	6.1	0.6	3.7	3.3	1.9	88.0	12.0
大学院生	69.6	9.9	79.5	1.2	5.0	-	1.9	1.9	1.9	91.3	8.7

\* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い水色■で網掛けした。(以下同)

図表2 就職確定者の就職先への満足度状況(n=807、単一回答、単位=%)



## ②大学生、大学院生の5割が、就職活動を開始後、半年以内に活動を終了。国公立大学で実施期間が短い傾向。2014年から大学生の活動期間が短縮。

就職活動の開始時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年次12月頃」が4割半ばでトップである。属性別にみると、国公立大学の文系大学生で「大学3年次10～11月頃」から開始する割合が多い。2014年調査と比べると、大学生は、「大学3年次11月頃」までに開始する割合が若干減少している。(図表3)

終了時期は、大学生は「大学4年次7～9月頃」がピークであるが、国公立大学の文系大学生、大学院生は「大学4年/大学院2年次4月頃」がピークとなっている。実施期間は、大学生・大学院生ともに半数が半年以内となっており、2014年調査に比べて、大学生の実施期間が短くなっている。(図表4、5)

図表3 就職活動の開始時期(n=996、単一回答、単位=%)

※開始時期:「プレントリー」「説明会」「書類選考」「対面選考」のいずれかを最初に実施した月。

【2015年】	大学3年/大学院1年					大学4年/大学院2年	
	5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～3月頃	4～9月頃	10月以降
大学生	3.7	7.9	11.2	<b>45.4</b>	19.1	9.2	3.6
文系・国公立	3.6	8.0	<b>18.3</b>	<b>47.3</b>	<b>12.1</b>	4.9	5.8
文系・私立	3.4	6.8	11.4	<b>46.3</b>	19.7	9.4	2.9
理系・国公立	3.5	9.7	6.2	<b>45.6</b>	15.8	13.1	6.2
理系・私立	4.2	10.0	10.5	<b>43.0</b>	19.4	8.7	4.2
大学院生	5.0	8.5	12.1	<b>46.8</b>	15.6	7.1	5.0
【2014年】							
大学生	4.5	9.4	12.2	<b>46.2</b>	15.4	8.7	3.6
大学院生	5.0	6.2	9.9	<b>49.1</b>	17.4	5.6	6.8

図表4 就職活動の終了時期(n=996、単一回答、単位=%)

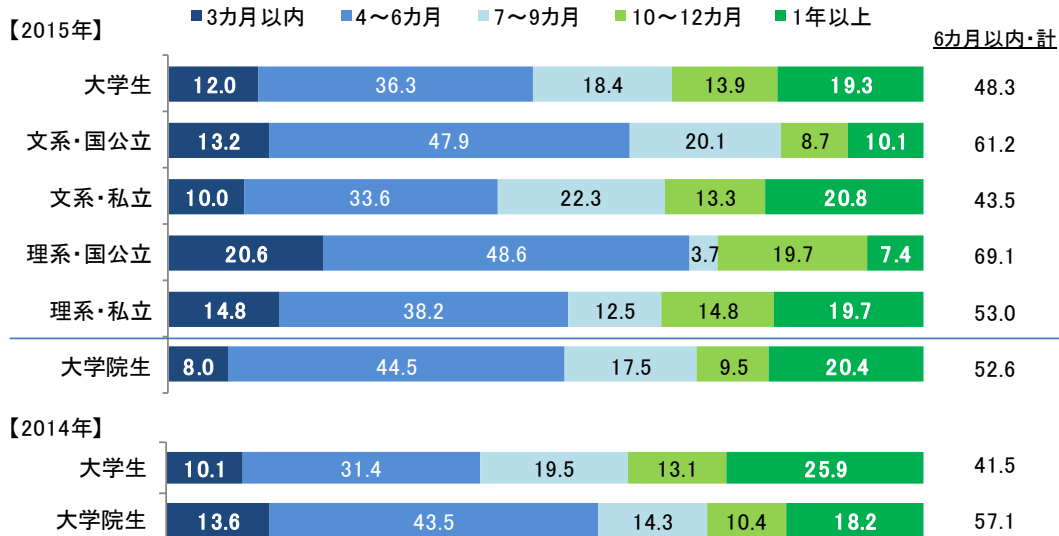
※途中の中断は含まず。

	大学3年/ 大学院1年 3月以前	大学4年/大学院2年					活動継続中	
	4月頃	5月頃	6月頃	7～9月頃	10～12月頃	1～3月頃		
大学生	7.7	13.1	12.9	10.9	<b>20.4</b>	12.7	10.9	11.3
文系・国公立	5.8	<b>29.0</b>	15.2	10.7	21.0	4.9	<b>5.8</b>	7.6
文系・私立	6.5	10.5	14.1	9.8	<b>21.8</b>	13.1	12.5	11.7
理系・国公立	<b>15.8</b>	9.7	13.1	<b>16.6</b>	<b>19.3</b>	15.8	-	9.7
理系・私立	9.1	17.2	9.7	12.5	<b>17.3</b>	12.5	10.5	11.3
大学院生	4.3	<b>23.4</b>	17.7	9.9	14.2	7.8	6.4	<b>16.3</b>

\* 図表3、4 いずれも属性ごとに選択率が最も多い区分を太字にした。

図表5 就職活動の実施期間(n=959、単一回答、単位=%)

※開始月から終了月を引いて算出。3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。



③大学生のプレントリー53.6社、企業説明会参加23.5社、書類選考17.8社、面接などの対面選考11.3社。私立の文系大学生で、プレントリー、企業説明会参加社数が多い。

各活動の対象企業・団体数の平均値は、大学生ではプレントリー53.6社、企業説明会23.5社、書類選考17.8社、面接など対面選考11.3社、最終面接3.1社、内定取得1.9社。属性別にみると、私立大学の文系大学生でプレントリー、企業説明会の社数が多い。2014年調査に比べて、大学生のプレントリー社数が若干減少している。

プレントリーした企業のうち、就職活動開始前から知っていた企業は、大学生・大学院生ともに20社強で、プレントリーした企業の半数弱に相当。残りは就職活動開始後に認知した企業である。(図表6、7)

図表6 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(n=996、数値回答、単位=社、それぞれ「0」を除いて算出)

	プレントリーした(資料・採用情報の請求)	プレントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの対面選考を受けた	最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
【2015年】							
大学生	53.6	23.3	23.5	17.8	11.3	3.1	1.9
文系・国公立	50.1	<u>30.8</u>	21.8	20.4	<u>12.5</u>	3.3	2.0
文系・私立	<u>57.7</u>	25.0	<u>25.4</u>	18.5	12.1	3.0	1.9
理系・国公立	30.8	19.0	16.5	14.0	8.4	3.0	1.6
理系・私立	49.2	18.3	20.5	16.6	9.7	<u>3.3</u>	<u>2.1</u>
大学院生	45.2	20.8	22.4	<u>20.4</u>	11.8	3.2	1.9
【2014年】							
大学生	57.7	23.6	24.3	19.3	12.2	3.1	1.8
大学院生	46.4	22.5	20.8	17.5	10.4	2.7	1.7

\*各活動で、最も対象企業・団体数の平均値が多い属性のセルに下線を引いた。

図表7 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の分布(n=996、数値回答、単位=%)

		20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
		0社	1~4社	5~9社	10~19社			
(プレントリー資料・採用情報の請求)	大学生	8.9	10.0	6.1	10.2	<b>23.2</b>	21.1	20.5
	文系・国公立	3.6	8.0	7.1	8.5	<b>34.3</b>	19.7	18.8
	文系・私立	8.1	8.6	4.4	9.8	<b>24.9</b>	22.6	21.6
	理系・国公立	13.1	<b>19.3</b>	<b>15.8</b>	9.7	<b>9.7</b>	<b>25.5</b>	<b>7.0</b>
	理系・私立	10.6	11.7	7.9	11.5	20.5	17.0	<b>20.9</b>
	大学院生	5.7	7.8	7.1	11.3	<b>28.4</b>	23.4	16.3
前から知っていた	大学生	14.3	15.6	10.4	21.6	<b>24.1</b>	11.1	2.9
	文系・国公立	<b>3.6</b>	15.2	2.2	26.3	<b>32.6</b>	13.0	7.1
	文系・私立	12.2	14.0	10.6	20.8	<b>26.1</b>	12.8	3.4
	理系・国公立	16.6	<b>22.0</b>	<b>15.8</b>	16.6	15.8	13.1	-
	理系・私立	<b>20.2</b>	18.1	10.1	<b>23.7</b>	19.8	6.3	1.7
	大学院生	<b>7.9</b>	12.1	11.4	25.7	<b>30.7</b>	10.0	2.1

\*属性ごとに最も多い区分を太字にした。

※前ページより続き

図表7 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の分布(n=996、数値回答、単位=%)

		20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
		0社	1~4社	5~9社	10~19社			
企業参加説明会に	大学生	3.8	12.5	10.6	19.6	<b>40.8</b>	11.0	1.7
	文系・国公立	5.8	9.4	13.4	22.3	<b>36.6</b>	12.5	-
	文系・私立	2.5	8.0	12.2	20.1	<b>42.3</b>	12.4	2.5
	理系・国公立	<b>15.8</b>	<b>32.4</b>	3.5	13.1	29.0	6.2	-
	理系・私立	4.0	19.0	8.1	19.3	<b>40.5</b>	8.6	0.5
	大学院生	6.4	7.8	10.6	<b>24.8</b>	<b>41.8</b>	7.8	0.7
書類選考を受けた	大学生	4.6	16.4	15.0	26.6	<b>30.7</b>	5.9	0.8
	文系・国公立	4.0	16.5	10.7	<b>33.1</b>	29.0	4.0	2.7
	文系・私立	3.3	12.8	17.1	25.2	<b>34.7</b>	6.2	0.7
	理系・国公立	<b>12.3</b>	<b>39.4</b>	3.5	15.8	19.3	9.7	-
	理系・私立	6.0	19.8	13.5	<b>30.8</b>	24.5	4.7	0.7
	大学院生	1.4	16.3	12.1	27.0	<b>31.9</b>	10.6	0.7
面接などの対面選考を受けた	大学生	5.2	25.0	23.7	<b>25.2</b>	19.1	1.7	0.1
	文系・国公立	4.9	23.6	25.0	<b>25.9</b>	17.9	2.7	-
	文系・私立	4.0	22.7	23.7	<b>26.9</b>	20.6	2.0	0.2
	理系・国公立	<b>25.5</b>	<b>29.8</b>	22.0	7.0	15.8	-	-
	理系・私立	3.9	<b>29.4</b>	23.8	25.0	16.6	1.2	-
	大学院生	5.0	23.4	18.4	<b>32.6</b>	18.4	1.4	0.7
最終面接を受けた	大学生	9.9	<b>72.1</b>	13.6	4.1	0.4	-	-
	文系・国公立	16.1	<b>58.9</b>	21.4	3.6	-	-	-
	文系・私立	7.9	<b>76.1</b>	12.0	3.6	0.3	-	-
	理系・国公立	<b>29.0</b>	<b>57.9</b>	13.1	-	-	-	-
	理系・私立	9.4	<b>67.8</b>	16.0	6.1	0.7	-	-
	大学院生	9.9	<b>65.2</b>	22.7	2.1	-	-	-

		0社	1社	2社	3社	4社	5社以上
内定（内々定）を取得した	大学生	12.4	<b>43.4</b>	24.8	11.5	4.9	3.0
	文系・国公立	15.2	<b>38.4</b>	20.1	<b>17.0</b>	9.4	-
	文系・私立	10.7	<b>44.4</b>	27.7	10.1	4.5	2.7
	理系・国公立	<b>25.5</b>	<b>45.6</b>	<b>13.1</b>	15.8	-	-
	理系・私立	13.3	<b>41.5</b>	21.2	13.1	6.1	4.8
	大学院生	14.9	<b>44.0</b>	23.4	9.9	2.8	5.0

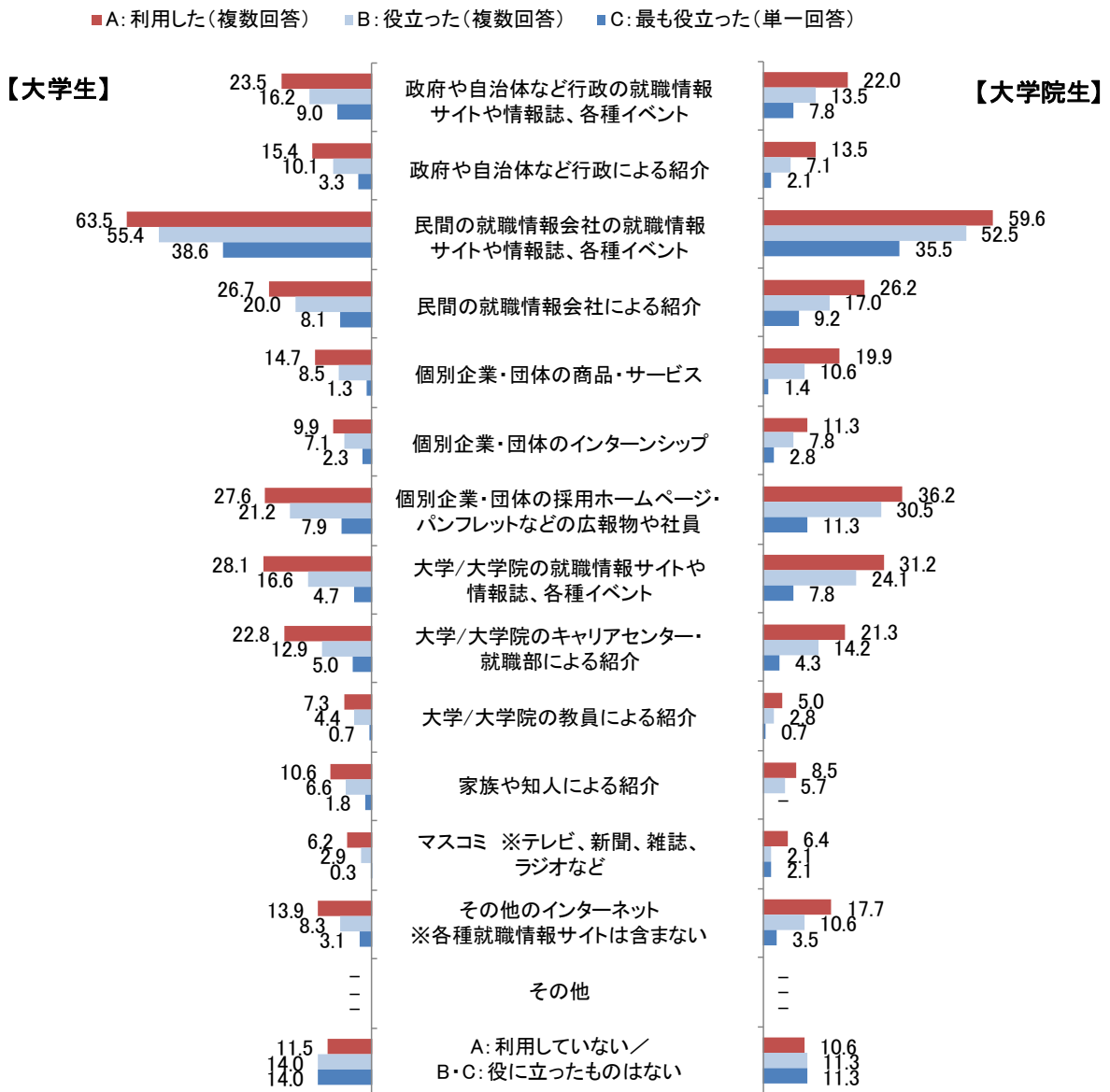
\* 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

#### ④プレエントリー対象、一次選考応募対象、最終的な就職先を選ぶときの情報源は、いずれも民間の就職情報会社がトップで、個別企業の採用広報物や社員、大学が続く。

[プレエントリー][一次選考応募][最終的な就職先]をそれぞれ選ぶときの情報源は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップで、「個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員」「大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」が続く。(図表8-1～3)

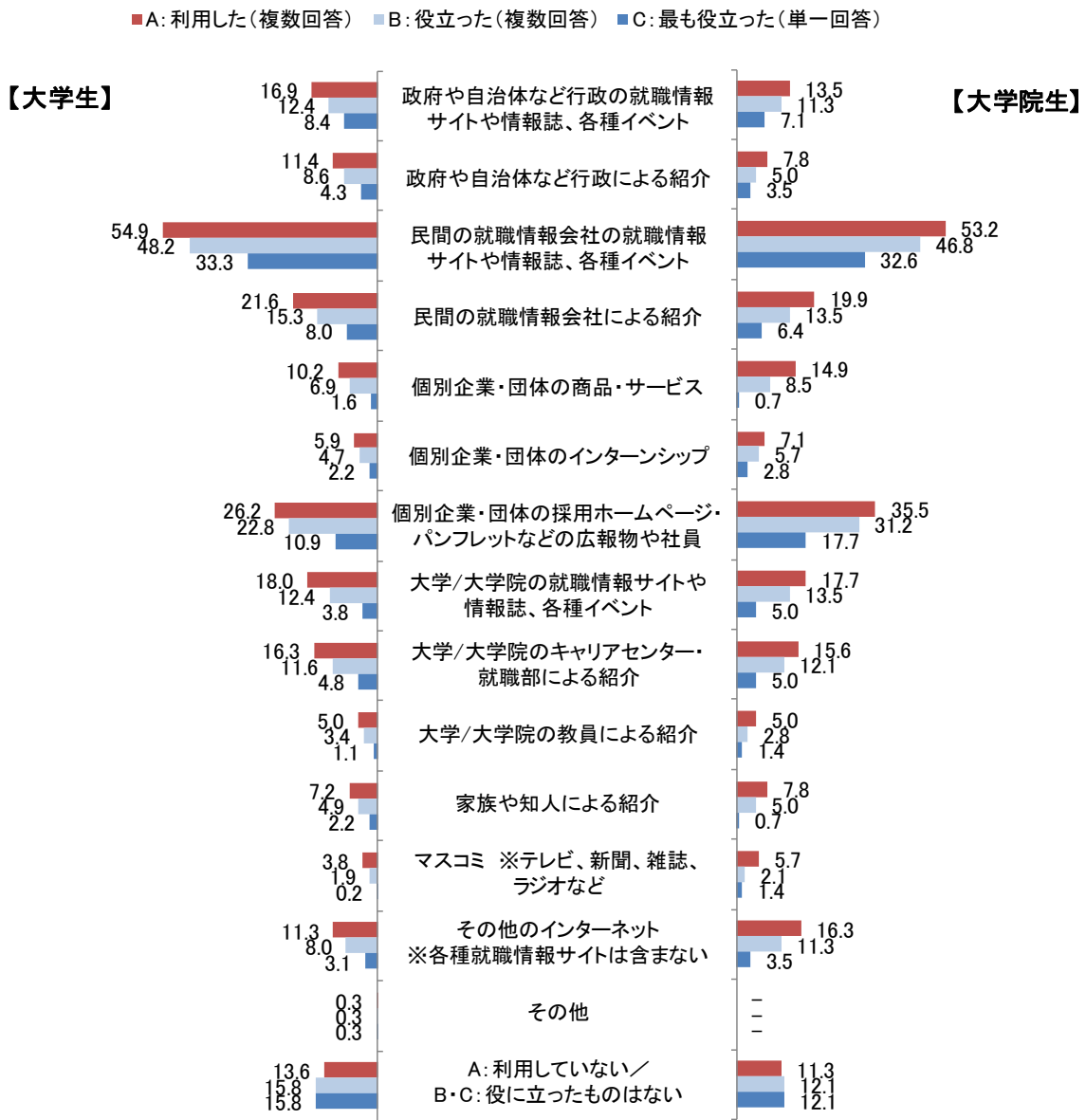
最終的な就職先の認知経路は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップである。属性別にみると、国公立大学の文系大学生で「就職先企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員」、国公立大学の理系大学生で「政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」からの認知が多い。(図表9)

図表8-1 プレエントリー(資料・採用情報の請求)する対象を選ぶ時の情報源(n=996、単位=%)



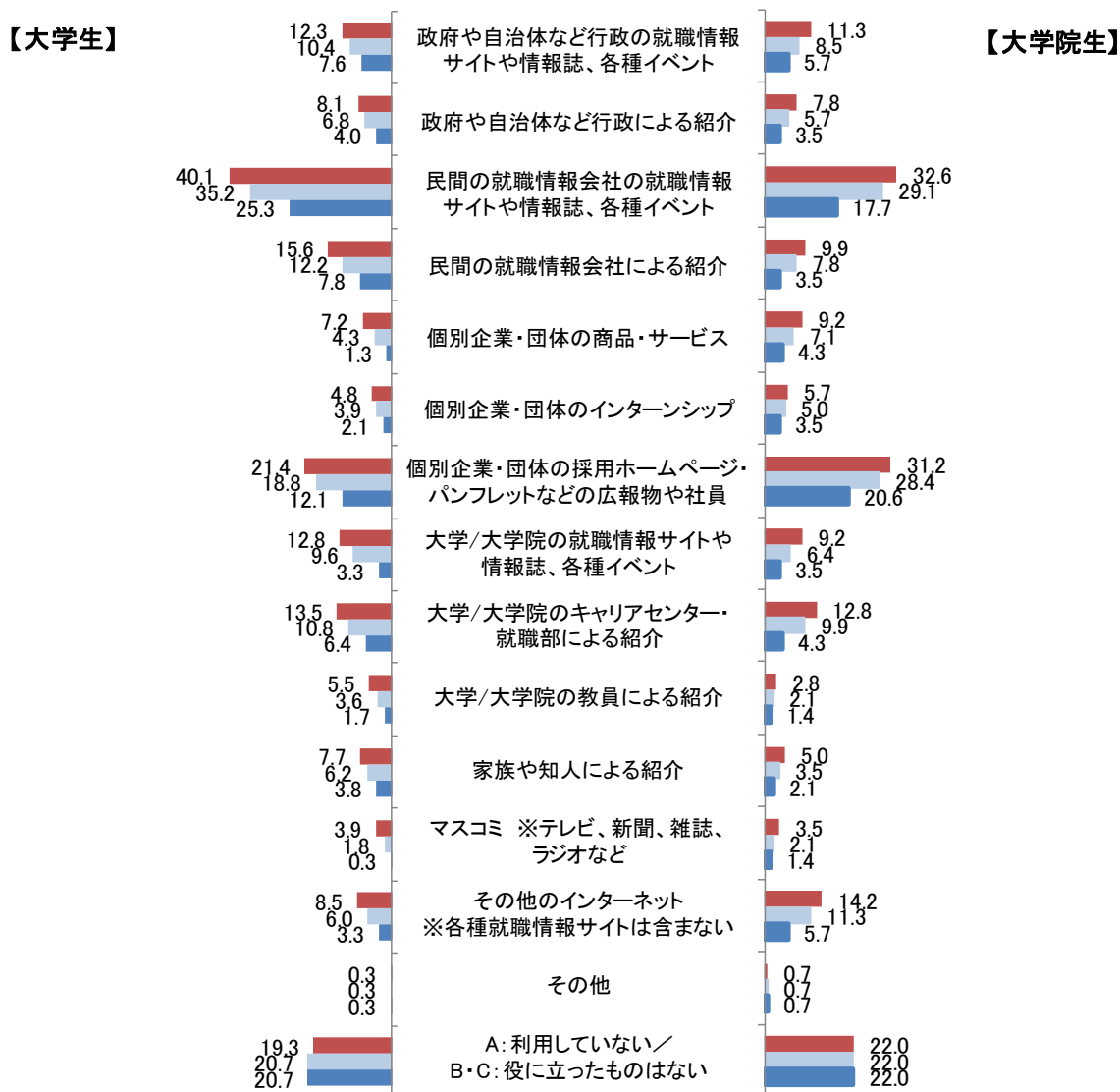


図表8-2 一次選考に応募する対象を選ぶ時の情報源(n=996、単位=%)



図表8-3 最終的な就職先を選ぶときの情報源(n=996、単位=%)

■A: 利用した(複数回答) ■B: 役立った(複数回答) ■C: 最も役立った(単一回答)



図表9 最終的な就職先の認知経路(n=807、複数回答、単位=%)

	政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	個別企業・団体の商品・サービス	個別企業・団体のインターンシップ	個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ ※テレビ、新聞、雑誌、ラジオなど	その他のインターネット ※各種就職情報サイトは含まない	その他	わからない・覚えていない
大学生	10.3	7.4	<b>44.6</b>	13.4	5.1	4.3	12.9	<b>18.1</b>	<b>15.1</b>	4.1	9.1	3.0	4.9	1.4	4.1
文系・国公立	<b>18.3</b>	10.3	<b>35.4</b>	3.4	4.6	<b>10.9</b>	<b>28.5</b>	10.3	9.7	1.7	<b>15.4</b>	<b>9.1</b>	5.1	1.7	6.9
文系・私立	8.9	8.3	<b>45.9</b>	12.3	5.1	2.8	11.5	<b>16.6</b>	<b>14.0</b>	2.5	8.0	3.7	4.4	1.3	3.9
理系・国公立	<b>23.1</b>	-	<b>24.3</b>	10.2	<b>19.2</b>	<b>19.2</b>	<b>19.2</b>	<b>23.1</b>	19.2	<b>10.2</b>	9.0	-	-	-	-
理系・私立	10.2	6.2	<b>46.2</b>	<b>18.1</b>	2.7	4.0	12.7	<b>22.0</b>	17.6	7.1	10.9	0.9	6.8	1.8	5.0
大学院生	8.8	3.5	<b>48.2</b>	13.2	8.8	2.6	<b>14.0</b>	<b>21.9</b>	13.2	<b>9.6</b>	12.3	1.8	4.4	0.9	4.4

\* 属性ごとに選択率が上位の3項目を太字にした。



### ⑤大学生が就職活動中に知りたい情報の上位項目は「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」で、8～9割が就職活動中に知ることができたと回答。

大学生が知りたかった情報は、すべての段階で「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」が上位。また、大学生の8～9割が、[プレエントリー][一次選考応募][最終的な就職先]をそれぞれ選ぶ時のいずれかの段階までに、これら情報を知ることができたと回答した。

大学院生は、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時に、「経営理念・ビジョン」を知りたい傾向が強く、大学院生の9割が[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ段階までに知ることができたと回答した。(図表10、11)

図表10 就職活動の段階別に知りたかった情報(n=996、複数回答、単位=%)

	プレエントリー対象を選ぶとき				一次選考応募対象を選ぶとき				最終的な就職先を選ぶとき			
	大学生		大学院生		大学生		大学院生		大学生		大学院生	
	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで
経営理念・ビジョン	43.6	18.3	<b>45.4</b>	<b>19.9</b>	35.2	17.0	<b>39.7</b>	17.0	29.2	13.7	31.2	17.7
社会貢献活動や環境問題への取り組み状況	18.5	5.9	17.0	4.3	13.9	5.8	15.6	7.1	11.2	5.4	8.5	3.5
事業の安定性・将来性	<b>46.7</b>	<b>22.6</b>	<b>47.5</b>	<b>20.6</b>	<b>38.1</b>	<b>20.2</b>	<b>39.0</b>	<b>19.1</b>	<b>36.8</b>	<b>20.7</b>	<b>36.9</b>	<b>23.4</b>
事業内容や商品・サービスの特性	43.3	16.5	<b>45.4</b>	19.1	32.6	13.9	32.6	17.0	23.6	9.4	26.2	9.9
具体的な仕事内容	<b>57.9</b>	<b>33.4</b>	<b>57.4</b>	<b>36.2</b>	<b>45.6</b>	<b>28.0</b>	<b>48.2</b>	<b>32.6</b>	<b>41.7</b>	<b>26.6</b>	<b>46.1</b>	<b>34.0</b>
若手社員の仕事の様子	31.6	8.6	32.6	9.2	26.9	9.6	30.5	11.3	26.6	10.2	22.0	9.2
組織風土	33.8	6.8	40.4	12.8	29.4	8.3	38.3	<b>17.7</b>	28.3	10.2	29.8	16.3
従業員構成の男女比・内訳	17.9	2.2	16.3	1.4	14.7	3.4	11.3	0.7	12.7	2.8	7.1	0.7
従業員構成の年齢別の内訳	16.5	1.6	17.0	1.4	11.9	1.4	11.3	1.4	11.0	1.1	8.5	-
職場の人間関係・雰囲気	35.4	11.0	27.7	7.1	32.1	13.4	34.0	11.3	35.5	20.5	34.0	14.9
勤務地	<b>50.6</b>	<b>23.7</b>	39.7	17.0	<b>42.5</b>	<b>18.2</b>	33.3	12.8	<b>43.0</b>	<b>22.9</b>	<b>36.9</b>	<b>21.3</b>
採用時の具体的な給与・賞与額	39.2	14.0	34.8	10.6	30.7	11.9	29.8	10.6	34.6	14.3	33.3	15.6
将来の給与の見通し	27.5	5.1	24.1	4.3	24.3	4.6	19.9	4.3	28.6	6.7	24.1	7.1
諸手当の支給状況	25.2	3.3	22.0	1.4	20.4	3.7	14.9	2.1	25.2	4.1	22.0	7.1
忙しさの度合い	32.9	6.7	28.4	7.8	29.8	9.0	24.1	7.1	34.8	13.2	25.5	8.5
有給休暇日数と取得状況	24.8	2.9	19.9	2.1	23.0	4.0	14.2	1.4	27.8	6.5	17.0	1.4
人事評価制度と運用状況	12.3	0.3	9.9	0.7	10.8	0.8	9.2	1.4	13.0	1.5	12.8	0.7
教育研修制度と運用状況	18.1	2.7	17.7	1.4	16.7	2.3	14.2	3.5	17.7	3.7	18.4	2.8
出産・育児・介護との両立を支援する制度と利用状況	14.3	1.3	13.5	2.1	12.8	1.6	12.8	2.1	13.6	2.4	13.5	2.8
新卒者の定着状況	22.3	3.9	19.9	1.4	19.3	3.2	9.9	0.7	20.3	5.6	12.1	2.8
新卒者の採用人数	31.5	6.0	32.6	3.5	21.2	4.3	20.6	2.8	14.3	2.8	12.1	0.7
採用選考の応募資格(学校種別、専攻分野)	21.1	1.8	21.3	2.1	11.1	1.1	10.6	0.7	7.7	1.0	4.3	-
採用実績校	16.0	1.9	19.1	-	8.1	0.8	9.2	1.4	6.5	1.2	3.5	-
求める人物像・採用選考の基準	31.3	5.9	30.5	7.1	28.0	11.6	25.5	7.8	15.6	3.5	11.3	0.7
選考中に提出が必要な書類	30.3	3.8	28.4	3.5	23.9	6.0	19.9	5.0	9.7	0.9	7.8	1.4
内定までの選考プロセス	41.0	15.3	39.0	14.2	35.2	15.7	27.0	11.3	18.4	6.5	12.8	5.7
その他	0.9	0.9	1.4	1.4	1.4	1.4	-	-	1.3	1.3	-	-

\* 属性ごとに選択率が上位の3項目を太字にした。

図表11 知ることができた情報とそのタイミング (n=996、単一回答、単位=%)

	大学生				大学院生			
	知ることができた			知ることができなかつた	知ることができた			知ることができなかつた
	プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで		プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで	
経営理念・ビジョン	52.2	31.4	8.5	8.0	61.0	28.4	5.0	5.7
社会貢献活動や環境問題への取り組み状況	39.1	33.3	8.9	18.7	40.4	35.5	7.1	17.0
事業の安定性・将来性	32.9	37.5	15.0	14.6	36.2	32.6	14.9	16.3
事業内容や商品・サービスの特性	43.9	34.4	11.6	10.2	42.6	40.4	7.8	9.2
具体的な仕事内容	35.4	39.9	17.3	7.4	32.6	43.3	12.1	12.1
若手社員の仕事の様子	20.1	36.0	21.5	22.3	22.7	39.7	20.6	17.0
組織風土	22.3	37.2	18.1	22.5	24.8	44.0	18.4	12.8
従業員構成の男女比・内訳	34.5	31.3	14.8	19.5	31.9	36.2	14.9	17.0
従業員構成の年齢別の内訳	31.8	29.9	13.8	24.5	29.8	32.6	14.2	23.4
職場の人間関係・雰囲気	17.4	36.5	24.5	21.6	17.7	34.8	24.8	22.7
勤務地	36.3	33.6	19.3	10.8	32.6	36.9	17.7	12.8
採用時の具体的な給与・賞与額	30.4	34.0	20.9	14.6	31.2	34.0	15.6	19.1
将来の給与の見通し	19.6	29.1	15.6	35.7	14.2	28.4	12.1	45.4
諸手当の支給状況	23.5	35.1	21.5	19.8	20.6	34.0	17.0	28.4
忙しさの度合い	18.1	28.2	22.0	31.6	16.3	29.1	18.4	36.2
有給休暇日数と取得状況	16.1	30.4	17.7	35.7	17.7	30.5	18.4	33.3
人事評価制度と運用状況	14.7	30.3	17.6	37.4	15.6	26.2	16.3	41.8
教育研修制度と運用状況	19.4	36.0	20.2	24.4	14.9	38.3	21.3	25.5
出産・育児・介護との両立を支援する制度と利用状況	18.5	32.5	17.9	31.1	17.0	31.2	19.9	31.9
新卒者の定着状況	18.9	29.0	16.8	35.3	24.8	28.4	12.1	34.8
新卒者の採用人数	33.2	33.9	15.5	17.4	36.2	29.1	15.6	19.1
採用選考の応募資格(学校種別、専攻分野)	43.1	30.4	10.6	16.0	44.7	25.5	12.1	17.7
採用実績校	41.2	22.2	10.6	25.9	46.1	17.0	8.5	28.4
求める人物像・採用選考の基準	37.5	33.1	12.6	16.8	46.1	33.3	7.8	12.8
選考中に提出が必要な書類	41.1	37.6	12.5	8.8	46.1	36.2	7.8	9.9
内定までの選考プロセス	36.7	38.8	12.5	11.9	38.3	34.0	14.2	13.5
その他	6.9	6.9	5.3	41.8	7.8	2.8	2.8	48.9

\* 属性ごとに各情報の選択率が最も多い項目を太字にした。

\* 属性ごとに、「図表10 就職活動の段階別に知りたかつた(特に)」の選択率の合計値が高い上位3情報に■で網掛けした。

### ⑥活動終了時期が遅い者や3月下旬時点の活動継続者ほど、開始時期が遅く、活動期間が長く、活動の量が少ない。終了時期が早いほど「民間の就職情報会社」、遅いほど「大学」が情報源。

大学生を就職活動の終了時期別に4区分すると、終了時期が遅い者や、3月下旬時点での活動継続者ほど就職活動の開始時期が遅く、かつ就職活動期間が長い。大学4年次5月までの終了者の8割半ばが、3年次12月までに開始して半年以内に終了している一方、活動継続者の9割弱が、3年次12月以降に開始して7割強が1年以上活動している。なお、2014年調査に比べると、活動継続者における1年以上活動者の割合は、減少している。(図表12)

各活動の対象企業・団体数数は、いずれも終了時期が遅い者ほど少なかった。3月下旬時点での活動継続者のうち、プレントリーは4割、企業説明会は3割、書類選考は半数、面接など対面選考は7割、最終面接は9割強が、実施した企業数が10社未満であった。大学4年次5月までの終了者の半数強が、2社以上から内定を取得している一方で、3月下旬時点での活動継続者は72.2%が内定を1社からも取得していない。(図表13、14)

就職活動の段階別に最も役立つ情報源と、最終的な就職先の認知経路は、全段階・時期区分で「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップ。活動終了時期が早い区分では「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」、遅い区分・活動継続者では「大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介」の回答が多い傾向であった。(図表15)

図表12 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動の開始時期(n=855、単一回答、単位=%)と実施期間(n=822、単位=%)

	就職活動の開始時期							就職活動の実施期間				
	3年生 5月以前	3年生 6~9月 頃	3年生10 ~11月 頃	3年生12 月頃	3年生 1~3月 頃	4年生 4~9月 頃	4年生10 月以降	3カ月 以内	4~6 カ月	7~9 カ月	10~12 カ月	1年 以上
【2015年】												
i) 大学4年5月までに就職活動終了	4.1	9.6	14.5	<b>56.2</b>	12.9	2.2	0.5	22.2	<b>65.1</b>	5.6	7.1	-
ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	3.2	6.2	13.0	<b>44.4</b>	21.5	10.4	1.2	10.5	36.5	<b>40.3</b>	7.7	4.9
iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	4.8	8.1	7.2	<b>34.6</b>	23.0	16.7	5.5	6.7	9.4	13.1	<b>34.1</b>	<b>36.7</b>
iv) 就職活動継続中	1.3	7.1	4.5	<b>38.5</b>	22.5	10.8	<b>15.3</b>	-	15.3	4.0	6.8	<b>73.9</b>
【2014年】												
i) 大学4年5月までに就職活動終了	4.1	<b>14.6</b>	14.6	<b>51.3</b>	11.2	1.5	2.6	19.5	<b>65.9</b>	10.2	4.4	-
ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	3.3	7.1	12.1	<b>49.6</b>	16.3	10.8	0.8	8.9	32.1	<b>47.3</b>	6.3	5.5
iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	7.1	6.5	8.7	<b>39.1</b>	17.4	15.2	6.0	8.2	8.2	8.7	<b>37.0</b>	<b>38.0</b>
iv) 就職活動継続中	4.1	7.4	12.2	<b>40.5</b>	18.9	10.1	6.8	-	6.8	2.7	7.4	<b>83.1</b>

\* 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

図表13 【就職活動終了時期別】就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値  
(n=855、数値回答、単位=社、それぞれ「0」を除いて算出)

	プレントリー した (資料・採用 情報の 請求)	プレントリー したう ち、就職活 動開始前 から知って いた	企業説明 会に参加し た	書類選考 を受けた	面接など の対面選 考を受けた	最終面接 を受けた	内定(内々 定)を取得 した
i) 大学4年5月までに就職活動終了	<u>58.3</u>	<u>28.1</u>	24.0	18.1	<u>11.9</u>	3.1	<u>2.1</u>
ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	56.3	23.3	24.5	<u>18.6</u>	11.7	<u>3.3</u>	2.0
iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	47.4	18.1	<u>24.6</u>	18.5	11.0	3.0	1.7
iv) 就職活動継続中	41.9	16.1	16.5	13.0	9.2	2.9	1.9

\* 各活動で、最も対象企業・団体数の平均値が多い属性のセルに下線を引いた。

図表14 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動の対象企業・団体数の分布(n=855、数値回答、単位=%)

		20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
		0社	1~4社	5~9社	10~19社			
料・採 の請用 求情 報(資 料) プレ ゼン ト	i) 大学4年5月までに就職活動終了	3.2	6.1	7.1	10.2	23.7	24.0	<b>25.7</b>
	ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	7.7	8.6	3.8	8.6	23.7	<b>27.5</b>	19.9
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	11.3	13.7	10.0	14.3	<b>20.8</b>	12.9	16.9
	iv) 就職活動継続中	<b>24.0</b>	<b>18.0</b>	1.2	5.9	<b>25.5</b>	<b>11.5</b>	<b>13.8</b>
前就 から いた 知っ て始 め	i) 大学4年5月までに就職活動終了	7.7	10.2	11.1	22.2	<b>29.5</b>	15.1	4.2
	ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	10.0	13.2	9.8	25.8	26.8	11.8	2.6
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	19.0	<b>24.5</b>	10.9	18.7	18.2	<b>6.0</b>	2.8
	iv) 就職活動継続中	<b>35.6</b>	19.5	9.1	14.8	<b>12.9</b>	7.5	0.7
企 業 参 加 説 明 会 に 参 加	i) 大学4年5月までに就職活動終了	2.4	9.3	11.5	17.0	<b>47.4</b>	11.6	0.8
	ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	4.4	9.7	9.0	20.0	44.4	11.1	1.5
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	4.9	<b>19.6</b>	11.0	17.1	30.9	12.4	4.1
	iv) 就職活動継続中	3.9	14.8	11.7	<b>31.3</b>	<b>32.1</b>	6.1	-
書 類 選 考 を 受 け た	i) 大学4年5月までに就職活動終了	3.6	10.9	14.2	31.2	35.0	4.5	0.6
	ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	2.3	17.2	14.1	23.1	<b>35.9</b>	6.9	0.4
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	5.3	21.1	16.1	24.5	22.6	8.6	1.7
	iv) 就職活動継続中	<b>12.4</b>	20.5	17.7	26.9	<b>20.8</b>	1.8	-
対 面 受 け 選 考 を 受 け た	i) 大学4年5月までに就職活動終了	5.1	18.0	27.0	28.2	20.6	0.8	0.3
	ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	4.7	23.5	21.0	27.8	21.5	1.4	-
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	3.2	<b>33.8</b>	21.6	20.2	17.9	3.3	-
	iv) 就職活動継続中	<b>10.8</b>	<b>31.6</b>	25.5	19.6	<b>10.7</b>	1.8	-
最 終 受 け 面 接 を 受 け た	i) 大学4年5月までに就職活動終了	7.6	73.5	15.8	3.0	0.2	-	-
	ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	5.8	75.2	12.0	6.5	0.4	-	-
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	6.7	76.5	13.0	2.9	0.9	-	-
	iv) 就職活動継続中	<b>34.4</b>	<b>49.8</b>	12.8	3.0	-	-	-

		0社	1社	2社	3社	4社	5社以上
取 得 し た 内 定 を 受 け た	i) 大学4年5月までに就職活動終了	5.7	42.1	28.2	13.6	5.6	4.7
	ii) 大学4年6~9月に就職活動終了	2.5	48.4	25.7	15.4	4.3	3.6
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	6.5	<b>52.4</b>	28.0	6.3	6.0	0.9
	iv) 就職活動継続中	<b>72.2</b>	<b>14.4</b>	<b>4.9</b>	5.6	2.0	0.9

\* 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

図表15 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動段階別に最も役立つ情報源と最終的な就職先の認知経路(単位=%)

※最も役立つ情報源は単一回答、就職先の認知経路は複数回答。

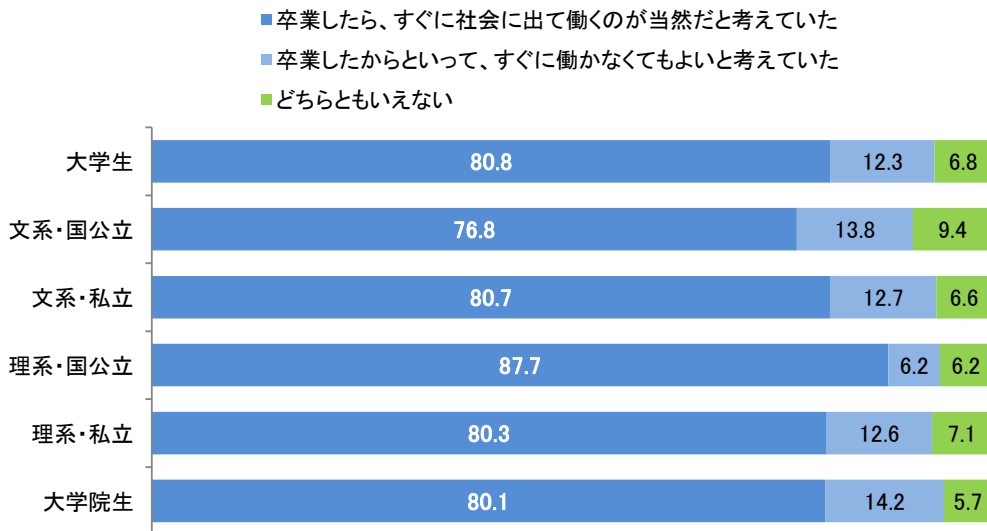
		政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	個別企業・団体の商品・サービス	個別企業・団体のインターネット	個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ ※テレビ、新聞、雑誌、ラジオなど	その他のインターネット ※各種就職情報サイトは含まない	その他	最も役立つ情報源:役に立ったものはない/認知経路:わからない・覚えていない
とブレに最も役立つ対象を情報源を選ぶ	i) 大学4年5月までに活動終了	9.7	1.6	<b>42.5</b>	5.7	1.0	2.1	12.2	7.2	2.9	0.8	2.1	0.3	3.4	-	8.3
	ii) 大学4年6~9月活動終了	7.2	2.0	<b>42.6</b>	7.6	2.4	1.9	7.0	3.3	3.8	1.4	2.9	0.6	2.2	-	15.0
	iii) 大学4年10~3月活動終了	10.9	6.0	<b>33.4</b>	11.8	0.9	1.3	<b>2.4</b>	2.5	9.3	-	0.6	-	4.7	-	16.2
	iv) 就職活動継続中	8.2	6.4	<b>27.0</b>	8.3	-	5.8	8.8	5.5	5.5	-	-	-	1.0	-	<b>23.4</b>
一次選考応募対象を選ぶときに最も役立つ情報源	i) 大学4年5月までに活動終了	8.9	2.3	<b>39.0</b>	5.7	1.7	2.3	14.1	3.1	3.4	1.0	3.0	0.2	3.1	1.0	11.2
	ii) 大学4年6~9月活動終了	6.6	2.1	<b>36.1</b>	6.7	2.5	2.0	12.1	4.1	3.1	2.0	2.9	-	2.5	-	17.3
	iii) 大学4年10~3月活動終了	10.3	7.0	<b>25.8</b>	12.1	1.1	1.5	6.9	3.8	8.7	0.6	1.2	0.7	5.0	-	15.3
	iv) 就職活動継続中	8.0	<b>10.1</b>	<b>24.1</b>	9.3	-	4.0	6.2	5.0	5.8	-	-	-	1.0	-	<b>26.5</b>
と最終的な就職先を選んだ情報源	i) 大学4年5月までに活動終了	9.0	1.3	<b>29.7</b>	5.4	0.8	2.1	17.0	3.1	4.5	1.5	3.0	0.8	4.0	1.0	16.9
	ii) 大学4年6~9月活動終了	5.9	2.5	<b>27.8</b>	6.8	1.9	2.1	13.0	2.8	5.4	2.4	5.9	-	1.9	-	21.7
	iii) 大学4年10~3月活動終了	8.7	7.9	<b>20.5</b>	12.2	1.7	0.9	7.6	2.8	<b>11.4</b>	2.1	3.7	-	4.9	-	15.5
最終的な就職先の認知経路	i) 大学4年5月までに活動終了	8.5	2.5	<b>53.2</b>	10.8	7.9	6.8	16.0	18.5	11.3	3.2	7.8	3.9	3.4	1.5	5.1
	ii) 大学4年6~9月活動終了	11.1	6.9	<b>46.2</b>	13.0	3.6	3.2	14.6	17.2	14.4	3.6	9.6	2.8	4.0	2.1	5.3
	iii) 大学4年10~3月活動終了	11.3	<b>14.6</b>	<b>30.9</b>	18.1	3.3	2.4	<b>5.7</b>	18.6	<b>20.7</b>	5.9	10.7	2.1	7.4	0.4	1.4

\* 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

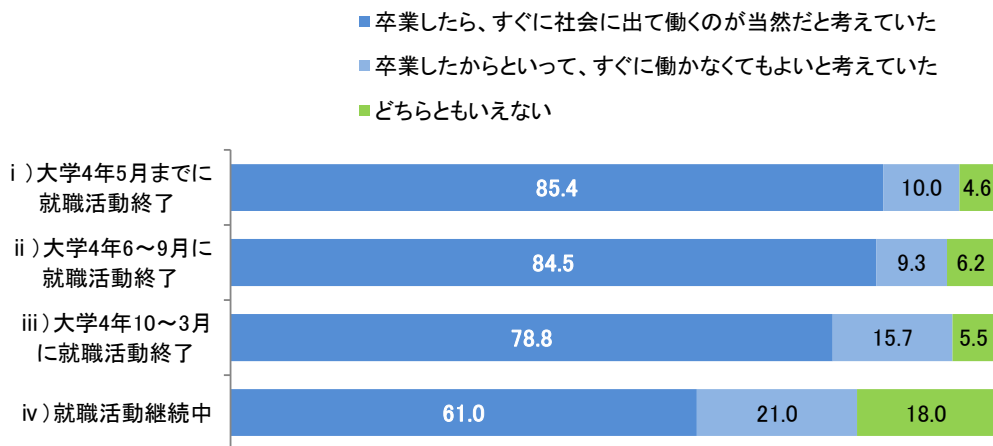
**⑦大学生・大学院生の8割が、活動開始前は「卒業したら、すぐに社会に出て働くのが当然」と認識。終了時期が遅い者や3月下旬時点の活動継続者でその意識が低い。**

就職活動開始前の働くことについての意識は、大学生・大学院生ともに8割が「卒業したら、すぐに社会に出て働くのが当然だと考えていた」と回答した。活動終了時期別では、終了時期が遅い者ほど「卒業したら、すぐに社会に出て働くのが当然だと考えていた」の回答が少なく、活動継続者の2割が「卒業したからといって、すぐに働かなくてもよいと考えていた」と回答した。(図表17、18)

図表17 働くことについて(n=996、単一回答、単位=%)



図表18 【就職活動終了時期別】働くことについて(n=855、単一回答、単位=%)

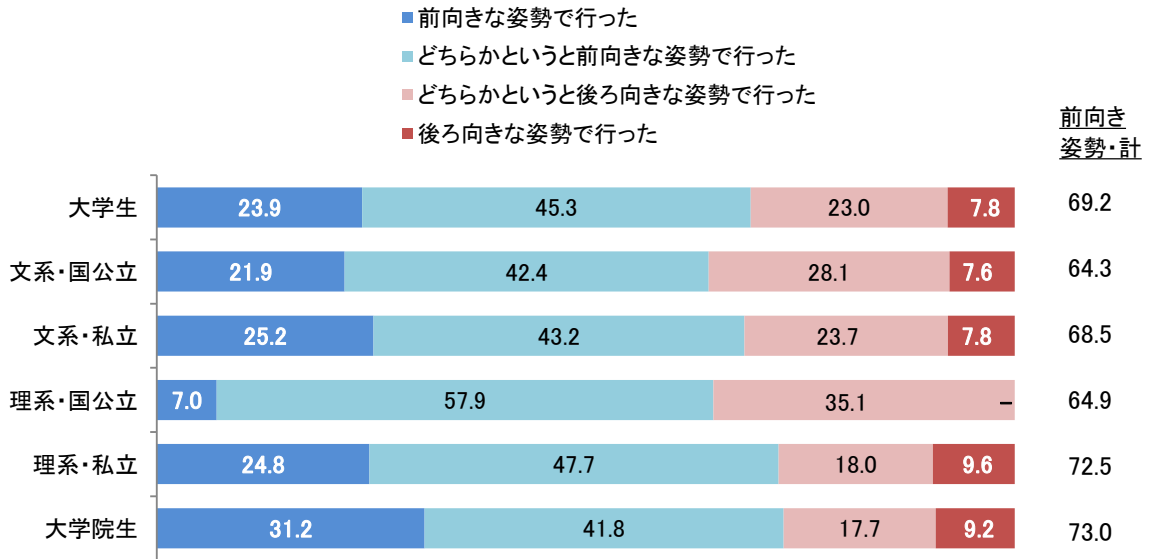




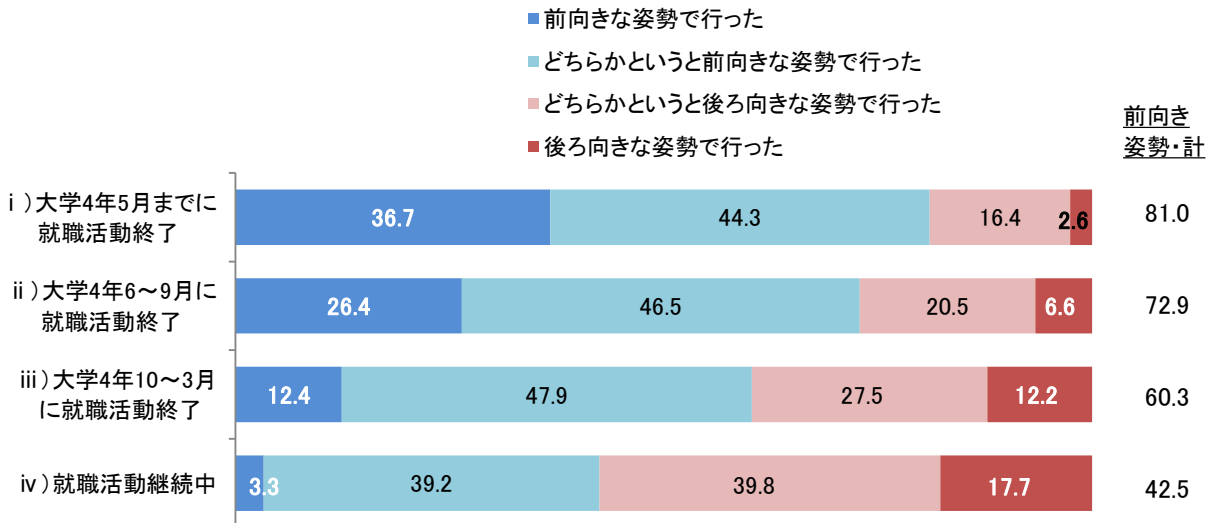
⑧大学生・大学院生の7割が「前向きな姿勢」で就職活動を実施しており、終了時期が早い者ほどその傾向が顕著。活動継続者は「後ろ向きな姿勢」が半数を超える。

就職活動実施に対する姿勢は、大学生・大学院生ともに7割が「前向きな姿勢で行った・計」と回答しており、私立大学の理系大学生、大学院生でその傾向が顕著である。終了時期別にみると、終了時期が早い区分では7～8割が「前向きな姿勢で行った・計」と回答した一方、活動継続者は「後ろ向きな姿勢で行った・計」が半数を超える。(図表19、20)

図表19 就職活動実施に対する姿勢 (n=996、単一回答、単位=%)



図表20 【就職活動終了時期別】就職活動実施に対する姿勢 (n=855、単一回答、単位=%)



⑨学生は、大卒者・若年者等の就職を取り巻く日本の労働市場の実態について十分な知識を得ていない。「中小企業の割合」も、大学生・大学院生の4割の認知にとどまる。

就職を取り巻く環境に関する実態の認知度は、「日本の全会社数の99%は中小企業で、中小企業で働く人の割合は、大企業で働く人を大きく上回っている」が最多だが、大学生、大学院生の4割にとどまる。2014年調査と比べても、認知度に大きな差はみられない。(図表21)

図表21 日本の大卒者・若年者等の就職を取り巻く環境に関する実態の認知度(n=996、複数回答、単位=%)

\*日本の大卒者や若年者の就職を取り巻く環境の実態として、あてはまると思う文章をすべて選択させた。選択肢として取り上げた内容は、すべて日本の労働市場の現状に該当するものである。文章は「学校基本調査」など政府統計や関連調査・資料を参照して作成。

	2015年		2014年	
	大学生	大学院生	大学生	大学院生
A 1990年からの20年間で、日本の18歳人口は約4割減ったが、大学進学率が約2倍の約50%に増えたため、大学入学者数は約1.2倍に増えた	23.2	31.2	24.2	33.5
B 過去28年間、日本の大卒労働市場は、ほぼ常に就職を希望する学生数(供給側)より、企業の求人数(需要側)の方が多かった	13.6	18.4	17.0	23.6
C 日本の若年者(15~24歳)の失業率は、アメリカ、イギリス、フランスなどの諸外国に比べて低い	22.7	32.6	27.3	38.5
D 大卒求人倍率は、企業規模や業種による差が大きい 例)2015年卒者の調査結果によると、従業員数300人未満の中小企業が4.52倍であるのに対し、5,000人以上の超大手企業は0.55倍 流通業5.49倍に対し、金融業0.22倍	32.2	41.1	37.8	41.6
E 大学卒業後、就職活動を開始した当初の第1志望に就職する人は就職者の3割程度に留まる	26.9	34.8	32.9	33.5
F 日本の全会社数の99%は中小企業で、中小企業で働く人の割合は、大企業で働く人を大きく上回っている	<b>41.1</b>	<b>45.4</b>	<b>41.8</b>	<b>49.7</b>
G 大学卒業後の就職先業種の過半数を情報・サービス業と小売・流通業が占め、製造業(10%強)や金融・保険業(10%弱)を大きく上回る	11.0	13.5	13.8	16.8
H 大学卒業後の就職先職種が事務系の人は3割以下である	11.4	10.6	12.2	11.2
あてはまるものはない	24.8	19.1	18.1	18.0

\* 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

設問の文章作成時に参照した資料

- A、G、H: 文部科学省「学校基本調査」
- B、D: リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」
- C: 内閣府 雇用戦略対話 第7回資料
- E: マイナビHRリサーチセンター「内定者意識調査」、リクルートキャリア 就職みらい研究所「就職白書2015」
- F: 総務省統計局「経済センサス」